

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市御室老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

2 事業実施内容

- （１）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- ・通所介護・介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
 - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
 - ・通所介護計画に基づく個々の利用者の生活支援を目指したサービス提供
 - ・個別機能訓練計画に基づいて、専門職（柔道整復師）との日常的な連携のもとに行う個別機能訓練
 - ・利用者の興味・関心に即して、選択できるレクリエーションを提供し、グループ活動の実践による心身機能の向上、生活の充実のための支援を行うとともに、集団でのレクリエーションを提供することによる、協調性の助長や仲間意識の醸成
 - ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との協議
 - ・サービス向上に向けた取組としてユーザーアンケートの実施と第三者評価事業の定期受診
 - ・職員に対する内外研修の積極的な取組

- （２）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1 名
 - ・生活相談員 2 名
 - ・介護職員 12 名
 - ・看護職員 4 名
 - ・機能訓練指導員 3 名
 - ・介護アシスタント 1 名
 - ・運転手 4 名
 - ・調理員 5 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)延べ利用者数(実績値)

①令和7年度実績値	8,534	人
②令和8年度目標値	8,700	人

(2)実利用者数(実績値)

①令和7年度実績値	1,053	件
②令和8年度目標値	1,070	件

(3) 収支実績

ア 本来業務(老人デイサービスセンター)

介護保険収入	88,846,796
利用料収入	6,329,022
委託料収入	0
補助金収入	952,701
寄付金収入	0
雑収入	477,360
その他	1,601,612
収入計	98,207,491

令和7年度収入状況及び支出の状況(単位:円)

人件費	82,739,958
事業費	13,334,898
委託費	0
小額修繕費	0
その他	10,559,026
支出計	106,633,882

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和7年10月に全利用者を対象とした、法人統一のアンケートを実施。当センターより必要に応じ説明の上配布し、無記名で法人事務局宛の返送による回収を行いました。

(2) 利用者満足度把握の結果

【送迎】	満足：76.0%	ほぼ満足：13.0%	やや不満：2.1%	不満：0.0%	無記入：8.6%
【入浴】	満足：73.9%	ほぼ満足：17.3%	やや不満：0.0%	不満：0.0%	無記入：8.6%
【食事】	満足：73.9%	ほぼ満足：13.0%	やや不満：2.1%	不満：0.0%	無記入：10.8%
【おやつ】	満足：65.2%	ほぼ満足：19.5%	やや不満：4.3%	不満：0.0%	無記入：10.8%
【レクリエーション】	満足：54.3%	ほぼ満足：36.9%	やや不満：0.0%	不満：0.0%	無記入：8.6%
【機能訓練】	満足：43.4%	ほぼ満足：39.1%	やや不満：6.5%	不満：0.0%	無記入：10.8%

その他。連絡帳の内容や情報量、プライバシーへの配慮、職員の身だしなみや言葉使い、施設の清潔度を質問。全体的な満足度として、満足：73.9% やや満足：18.2% やや不満：0.0% 不満：0.0%と90%以上の方に高い評価いただいた。

一方で、やや不満とのご回答も少数ではあるが見られており、送迎に関しては乗降時介助の不安や、送迎時間の件、食事・おやつについてはその内容、機能訓練に関しては個別の訓練メニューなど回答からは導けない部分についても、可能な範囲で検証していきたい。

(3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果は、サービス向上委員会にて職員間で共有し、出されたご意見に対し、いかに応えていけるのかを検討しました。また毎月発行している広報誌に、特別ページとして差しはさみ、皆さまに配布しております。
引き続き、ご利用者・ご家族とのやり取りを通して、さらにご要望に応えていけるよう対応していきたい。

7 その他特記事項

(1)

介護等体験や看護学校生徒の実習などを受け入れ、社会的使命として福祉と教育の接点の場としての努めを果たせるよう努力してきました。支援学校からの実習に対しては、その実習を複数回重ねることにより、当センターの職員として雇用しているなど、障害者雇用の拡充につなげています。また、地元の保育園との交流についても、プレゼント交換などを通じ、日常的な交流を再開させました。

(2)

センター保有の車イスを活用し、地域住民への貸出事業を実施しました。広報周知には、自治連合会の広報誌に掲載していただくなどしました。

8 評価（指定管理者自己評価）

- ・生産性向上委員会を開催。現状の業務内容などを振り返り、見直し検証しました。結果、職員の休憩時間の取り方などの見直しを行いました。今後、サービス向上委員会などとも有機的に連携させることにより、利用者満足を目指すとともに、職員の働き方などの見直しにつなげていきます。
- ・事故再発防止委員会とサービス向上委員会を毎月開催しています。日々のミーティングで振り返りを行っている事故等を再検証し、ケース検討を行うことで、職員の質の向上を図り、サービスの充実を目指しています。
- ・職員の定着率が高く、ベテラン職員も多く在席しています。また介護福祉士を有する職員も多いことから、専門性の高い、安定したサービス提供に努めています。初心を忘れず、前述のサービス検討委員会などで振り返りを行い、常に自己研鑽に努めています。
- ・季節を感じていただくことを目的とした外出レクや、デイの中にながら喫茶店のように、準備したメニューからご注文いただくことで、その雰囲気味わっていただける「御室喫茶」を開催するなど、いかにして楽しんでいただけるのか、いかに社会との繋がりを感じていただけるのかを視点のレクリエーションを目指しています。またご利用者に選んでいただけるレクリエーションも大変好評で、「選べる鑑賞外出」（外出先を複数ご提示し、どこに行きたいのかを選んでいただく）「選べる粉もん」（職員手作りのおやつレクで、その時の気分2種類のメニューから選んで注文していただく）など主体性を持っていただけるレクリエーションにも取り組んでいます。